

来園者の安全確保に向けた 末廣農場別邸公園の樹木対策

～ 別邸築１００年に向けて　安心安全な公園づくりの実施　～

旧岩崎久彌末廣農場別邸公園の豊かな緑の保護と来園者の安全を確保するため、樹木医(※)と連携した保護対策を実施します。

園内の維持管理において樹木に枯損がみられたことから、シロアリ探知犬による調査を行い、樹木の伐採や薬剤注入などの対策を実施することで、来園者の安全確保に努めます。

(※)樹木の健康状態を診断し、病気の治療や保護、育成を行う木の専門家

1　調査結果を踏まえた樹木対策

〇枯損が見られたヒノキ１本と、調査によりシロアリ反応があったヒノキ６本について、樹木医の診断に基づき、保存樹木には必要な対策を講じ、伐採する樹木については準備を進めています。

(1)保存樹木（５本）

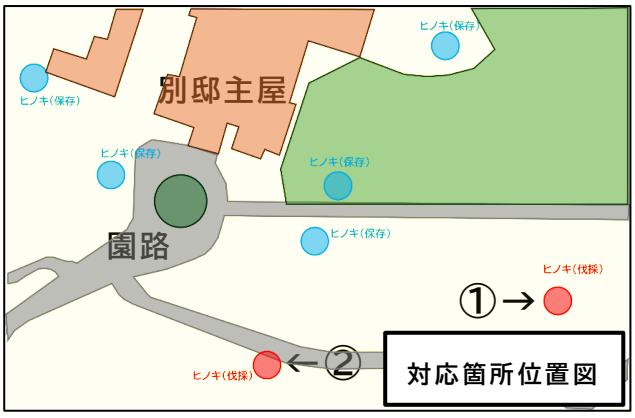
シロアリ反応のあったヒノキ６本のうち５本については、薬剤による駆除が有効と判断し、薬剤注入による保護対策を完了しました。

※薬剤注入による立入禁止は行っていません。


薬剤注入対応

(2)伐採樹木（２本）

調査によりシロアリ反応があり枯損が進んでいるヒノキ１本と維持管理により見つかった枯損したヒノキ１本については、放置するとシロアリの浸食リスクが高まることから、来園者の安全確保のため伐採を計画しています。




伐採予定樹木①


伐採予定樹木②



（裏面に続く）

2　経緯と調査結果

〇日常的な維持管理を行う中で、園内のヒノキに枯損が見られたことから、樹木医による状況確認
〇枯損が見られたヒノキ１本にシロアリを確認
〇樹木医の協力のもと、シロアリ探知犬による調査を実施
〇主屋周辺のヒノキ６本に、シロアリのものとみられる反応
※樹木の枯損には、一般的に乾燥や土壌の状態など、様々な要因が考えられますが、シロアリによる影響も要因の一つとされています。


シロアリ探知犬調査


枯損したヒノキ

3　継続的な点検

〇今回確認したシロアリ調査に伴う対策は、薬剤注入による保護や伐採を実施することで完了となります。
〇薬剤注入を行ったヒノキを含め、園内の樹木は日常点検と樹木医等の診断により健康状態を継続的に把握し、維持管理に努めます。

※本事業に係る経費については、１２月定例会に補正予算案として提出します。


旧岩崎家末廣別邸主屋

問合せ先
担　当　経済環境部商工観光課観光施設班
担当者　山川
電　話　０４７６－９３－４９４２【直通】
ＦＡＸ　０４７６－９３－２１０１
メール　shoukou@city.tomisato.lg.jp